

浸水深マップ

いけうらいけ
池浦池



このマップは、ため池が決壊した場合にどのような被害となるかを知るために、池浦池が決壊し、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定しています。

この地図では、浸水の深さを示しています。災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

浸水の深さ



避難経路の安全性

- 特に危険な区域(ため池堤防)
- ひざ上(0.5m以上)が浸水通行は危険
- ひざ下(0.5m未満)が浸水通行には注意が必要

ため池決壊と同時に発生するおそれがある災害

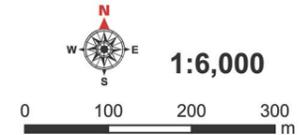
- 土砂災害(土石流)
- 土砂災害特別警戒区域
 - 土砂災害警戒区域
- 土砂災害(急傾斜地の崩壊)
- 土砂災害特別警戒区域
 - 土砂災害警戒区域

綾川洪水浸水想定区域(想定最大規模)

- 浸水が想定される範囲

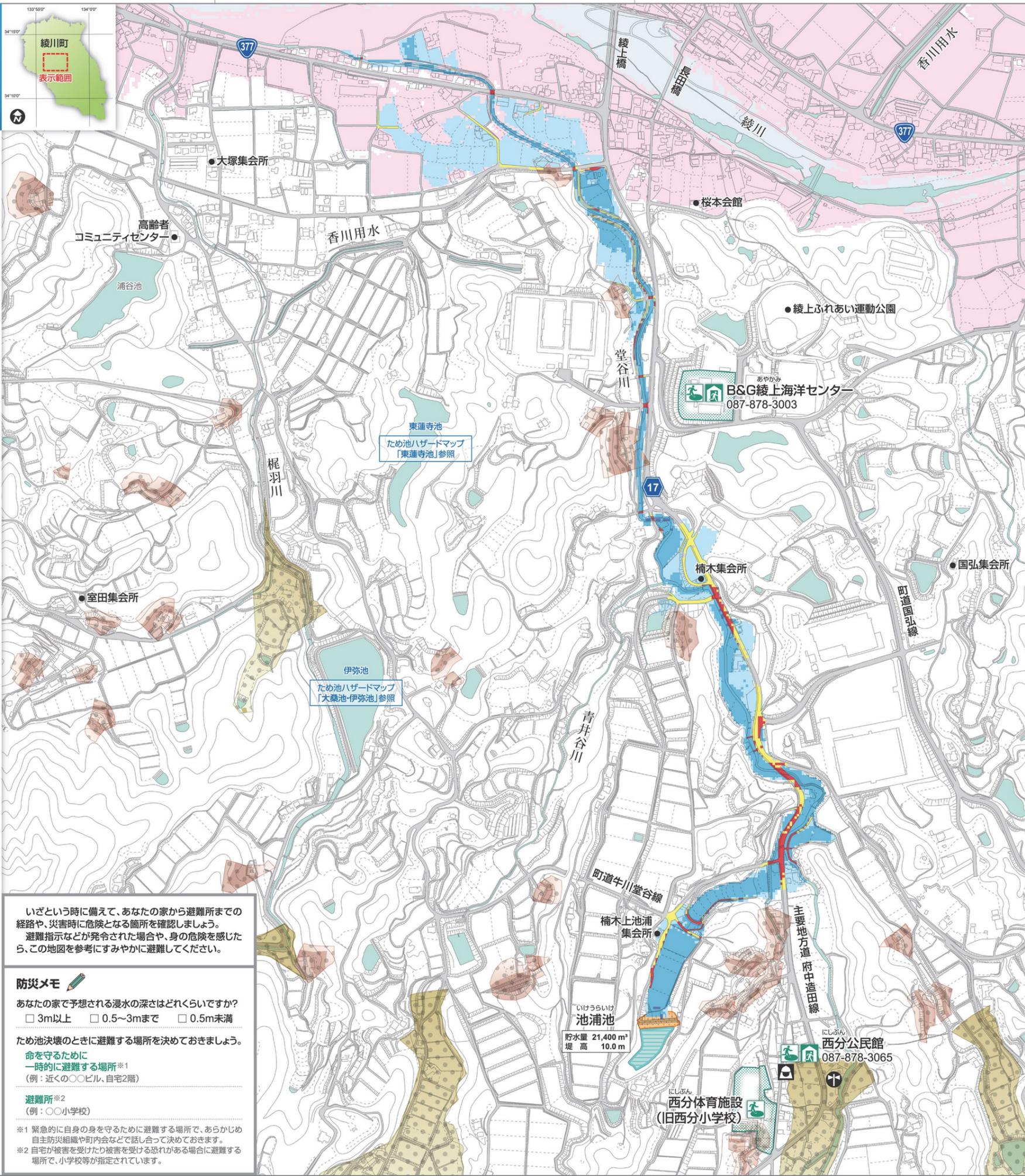
凡例

- 指定緊急避難場所
災害が発生するおそれがある時や災害発生時に、緊急的に避難し、身の安全を確保する場所
- 指定避難所
災害発生時に、被災者が一定期間滞在することができる施設等
- 避難所(敷地)
- 消防屯所
- 防災行政無線(スピーカー)



この地図は、綾川町長の承認を得て、同町発行の1/2,500都市計画図を使用したものである。(承認番号 7綾川建第951号)

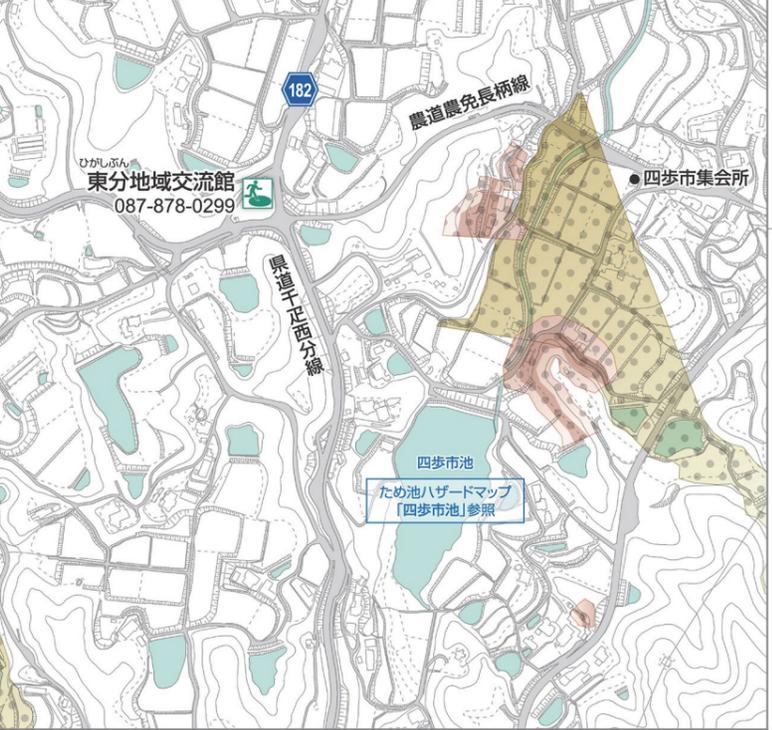
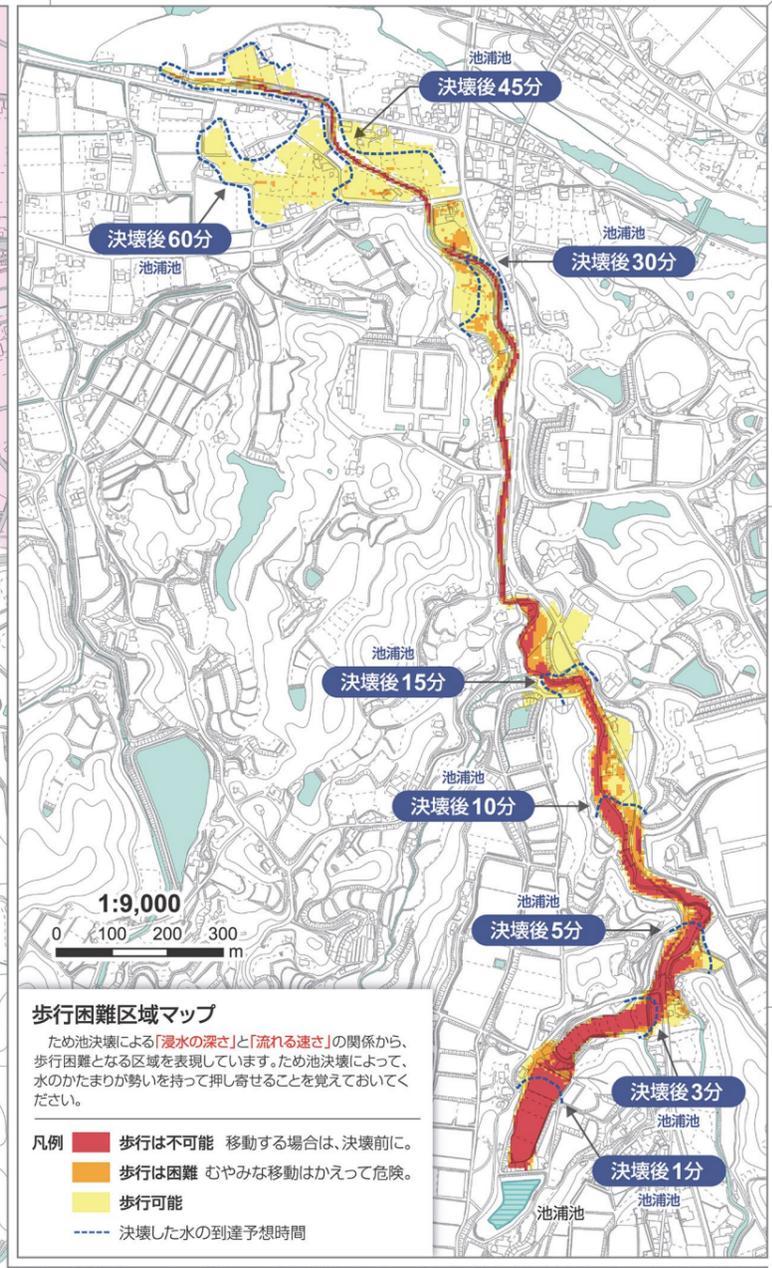
測量法に基づく国土院院長承認(使用) R 7JHs 353



いざという時に備えて、あなたの家から避難所までの経路や、災害時に危険となる箇所を確認しましょう。避難指示などが発令された場合や、身の危険を感じたら、この地図を参考にすみやかに避難してください。

防災メモ

- あなたの家で予想される浸水の深さはどれくらいですか?
 3m以上 0.5~3mまで 0.5m未満
- ため池決壊のときに避難する場所を決めておきましょう。
- 命を守るために一時的に避難する場所※1
(例: 近くの〇〇ビル、自宅2階)
- 避難所※2
(例: 〇〇小学校)
- ※1 緊急的に自身の身を守るために避難する場所で、あらかじめ自主防災組織や町内会などで話し合っておきます。
 ※2 自宅が被害を受けたり被害を受ける恐れがある場合に避難する場所で、小学校等が指定されています。

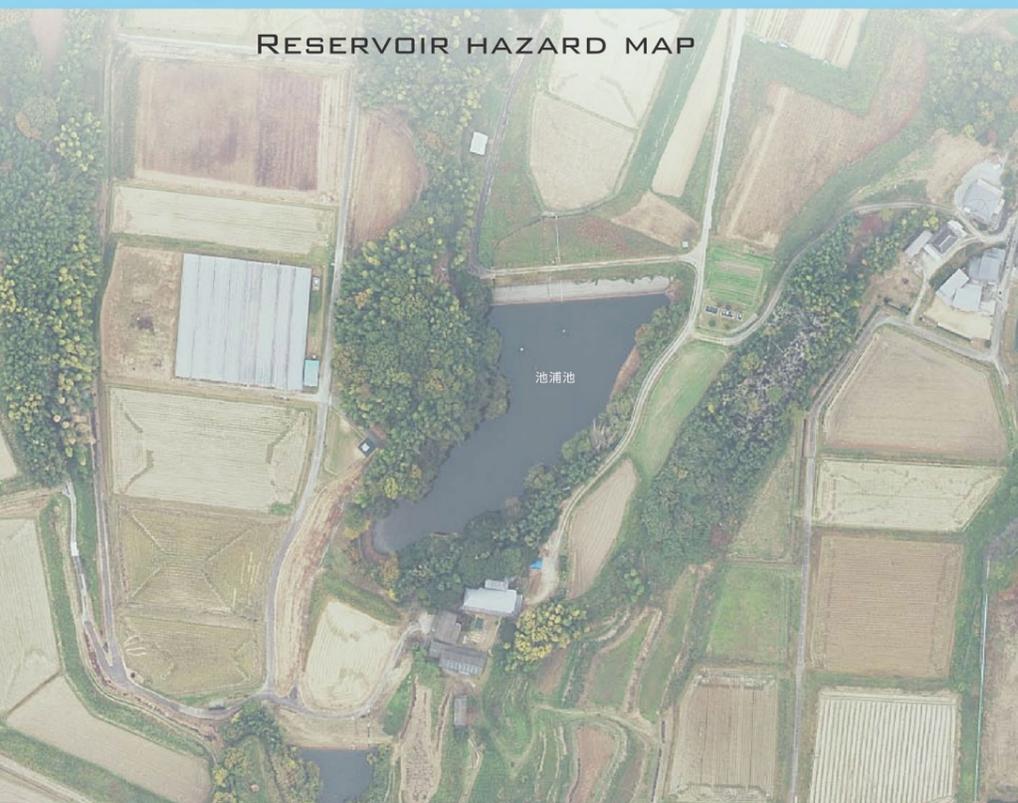




ため池ハザードマップ【保存版】

いけうらいけ
池浦池

RESERVOIR HAZARD MAP



● 池浦池が決壊し、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定しています。

● 浸水の深さによって、避難方法は異なります。

- 浸水しない場所（避難所、道路、空き地など）
- 自宅の2階、危険のない近くの高い建物
- 自宅にとどまる

● いざという時の連絡先（TEL）

	綾川町 防災担当	087-876-1906
	警察 事件・事故の通報	110(局番なし)
	消防 火事・救助・救急	119(局番なし)
	災害用伝言ダイヤル 災害時の安否確認	171(局番なし)

● 防災情報メール（登録無料）

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/kikikanri/sogo/bosaijoho/main.html>
避難指示などの情報が、登録しておくだけで携帯電話のメール等へ自動的に配信されるサービスです。



● 香川県防災ナビ（無料ダウンロード）

このアプリは、スマートフォンのもつ位置情報（GPS）を活用したハザードマップ・避難所の地図表示機能など、適切な避難行動を支援するための機能を備えています。ぜひ、ご自身のスマートフォンやタブレットなどにインストールのうえ、ご利用ください。



綾川町

作成/令和8年2月 綾川町 経済課
〒761-2392 香川県綾歌郡綾川町滝宮299番地

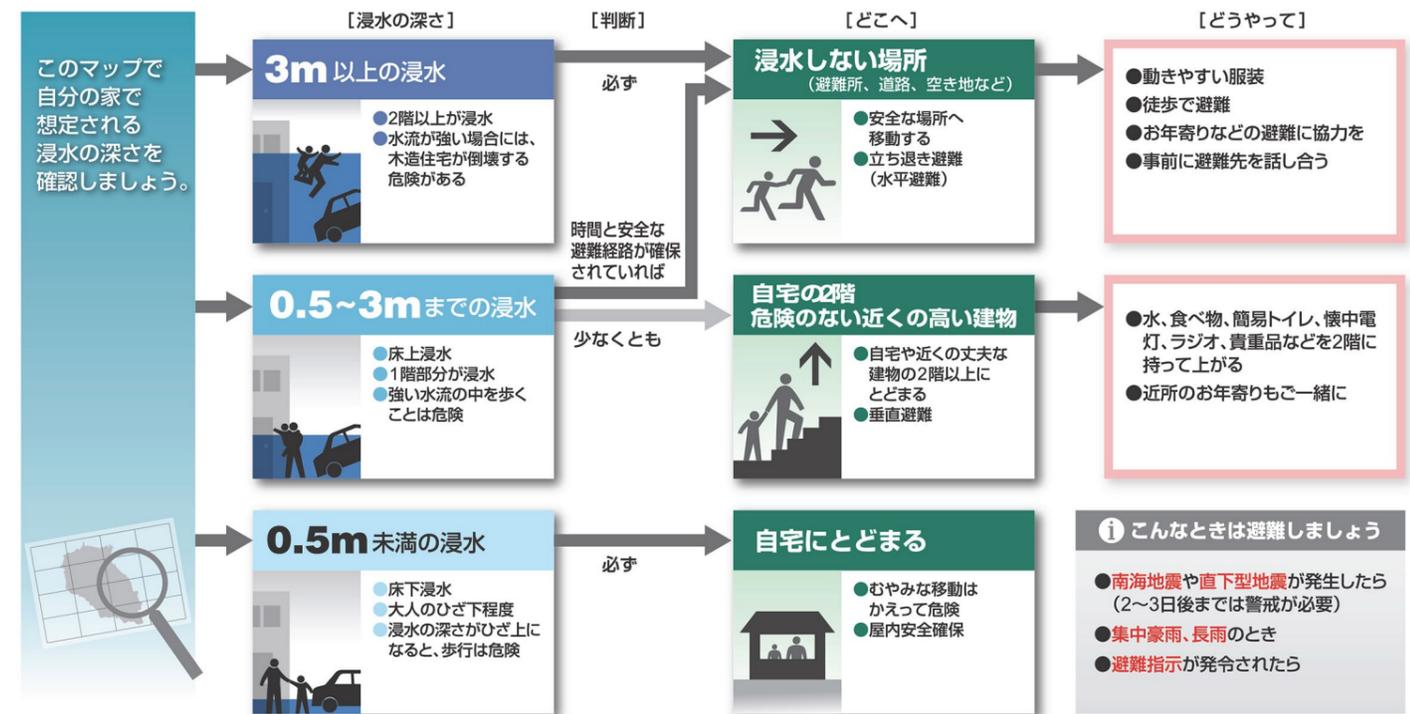


状況に応じた避難をしよう



▶ため池決壊による浸水の深さを想定した避難の流れ
命を守るための基本行動

想定される浸水の深さによって、避難方法は異なります。いざというときに、どのように行動するのか、家族や地域で確認しましょう。

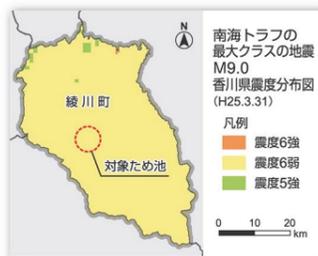


ため池決壊について知ろう

▶ため池決壊の原因（地震と大雨）

地震

本マップの対象ため池周辺では、南海トラフの最大クラスの地震によって震度6弱の揺れが予測されています。また、地震列島である日本では、どこにおいても直下型地震が発生する可能性があります。



大雨

集中豪雨や長雨によって、ため池の水位が上昇することで、ため池決壊のおそれがあります。

▶ため池決壊の起こり方と、その被害

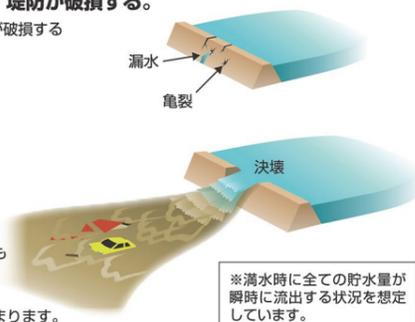
①南海地震や直下型地震で、堤防が破損する。

（地震同様に、大雨の際にも堤防が破損するおそれがあります。）

②破損した堤防が、貯水に耐え切れず「決壊」

③ため池決壊による被害

- 大量の水や土砂が濁流となって、瞬時に押し寄せます。
- 山津波、内陸部における津波とも呼ばれています。
- 建物や車は押し流されます。
- 道路や住宅地、田畑は土砂に埋まります。



※満水時に全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定しています。

① 災害事例

地震 — 福島県須賀川市 —

東北地方太平洋沖地震（平成23年3月11日）による震度6弱の揺れで、藤沼湖が決壊し、死者・行方不明者8名を出す被害となりました。

- 長時間の強い揺れによって、地震直後に決壊。
- 田植え前満水状態であった貯水が、全て流出した。
- 下流の集落に濁流となって押し寄せた。

大雨 — 香川県 —

近年、香川県では大規模ため池の決壊による被害は出ていませんが、未改修の中小規模のため池を中心に、堤防に亀裂が入るなどの被害が出ています。

町からの呼びかけ（避難情報）に注意しよう

▶土砂災害や洪水時には、警戒レベルに応じて避難しましょう

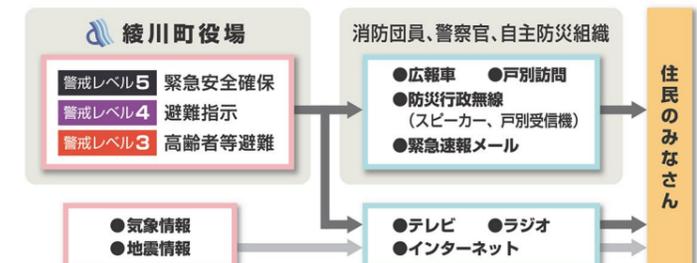
警戒レベル5では、すでに災害が発生している状況です。
警戒レベル3や警戒レベル4の段階で、声をかけあって避難しましょう。

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報
高	5 災害発生または切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保
危険度	4 災害のおそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示
	3 災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難
	2 気象状況の悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報 （気象庁）
	1 今後気象悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報 （気象庁）
低			

● 警戒レベル5は、市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、必ず発令されるとは限りません。
● 警戒レベル3は、高齢者等以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

▶避難情報の伝達経路

避難情報は下図のような経路で住民のみなさんに伝達されます。なお、避難情報には、緊急度に応じて発令されます。



① あらかじめ非常持出品を準備しましょう

